

平成29年度厚木地域の関係機関が行う小児在宅に係る取組内容

資料2-1

番号	課題区分	項目	内容	主たる機関（案）	協力を得たい関係機関（例）	スケジュールイメージ			
						第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)

体制構築

1	体制構築	関係機関が情報共有する会議の定期的な実施 ※医療課開催 ※厚木医師会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木地域の関係機関が地域の課題や取り組みについて定期的に情報交換を行う</li> <li>会議において顔の見える関係づくりやコーディネーター機能を明確化する</li> <li>マイサポートブック等を活用し横のつながりを強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木医師会</li> <li>厚木市健康づくり課</li> <li>厚木市福祉総務課</li> <li>居宅介護でだけ</li> </ul>	厚木保健福祉事務所、厚木市、厚木市立病院、訪問看護STもみじ、訪問看護STふたばらいふ、ゆいはあと、座間養護学校PTA、厚木市教育委員会			会議開催 (10月) ＜検討事項＞ ・進捗状況の共有	会議開催 (2月) ＜検討事項＞ ・進捗状況の共有 ・H30年度の取組内容
2	体制構築	連絡体制フロー図の作成	関係機関の役割を整理し、連絡体制のフロー図をつくる	厚木医師会	厚木保健福祉事務所、厚木市、厚木市教育委員会、厚木市立病院、訪問看護STもみじ、訪問看護STふたばらいふ、ゆいはあと、座間養護学校PTA ※No.9とも関連	作成内容検討			
3	体制構築	教育機関と相談支援事業所連絡会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木市障害者協議会（自立支援協議会）の一貫した子育て・療育プロジェクトチームへの医療関係者・特別支援学校・厚木市教育委員会の参加の可能性検討。</li> <li>各事業所連絡会の設置検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座間養護学校</li> <li>ゆいはあと（既存の発達支援部会で中心的役割）</li> </ul>	厚木市、ゆいはあと	方法検討		順次実施	
4	体制構築	放課後デイサービス連絡会の実施	放課後等デイサービスについて、各事業所がどのような支援を行っているか、課題があるのか等を検討・共有する連絡会（仮）の設置を厚木市障害者協議会に提案する	ゆいはあと	厚木市障がい福祉課、厚木市福祉総務課 ※No.16とも関連	方法検討		順次実施	
5	体制構築	コアメンバー体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療と福祉が密に情報共有でき連携をとれる各専門機関のコアメンバーによる体制を作る。各機関からの情報の集約や発信の拠点とする</li> <li>保健福祉事務所、訪問看護事業所、基幹相談支援センターが情報共有する場を設け、両親の障害受容のタイミングに合わせて引き継ぐ準備をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーション事業団</li> <li>ゆいはあと</li> </ul>	ゆいはあと、病院MSW、厚木保健福祉事務所、厚木市障がい福祉課、訪問看護事業所	内容検討		順次実施	
6	体制構築	医療的ケアに対応できる施設の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケアに対応できる医療機関施設を増やすため、厚木市内の医療、福祉関係機関へ協力を要請する</li> </ul>	厚木市障害福祉課	医療・福祉関係者等	方法検討		順次実施	
7	体制構築	メディカルショートステイにおける行政の関わりの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児在宅支援センターに利用実績のある児については、センターへの直接連絡で対応するシステムを作っている。緊急預かり後の入院期間によってはほかの施設への依頼・調整などが必要なケースも考えられるので、行政機関に関与してもらう。</li> </ul>	北里大学東病院	厚木市	方法検討		順次実施	
8	体制構築	退院前のケースカンファレンス、情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院前に、医療機関、行政関係者などが集まったところで、ケース紹介を受けることで情報共有し、関係各所の対応がわかり各所にスムーズに相談しやすくなり、医療処置だけではなく、介護者へのかかわり方も連携が必要になることから事前に情報収集できる。</li> <li>訪問看護ステーションと情報交換会を設ける。</li> <li>災害時対策が未定のまま退院しているため、退院前指導や準備の中に「停電時対策」を検討することを位置づける</li> <li>地域カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木市立病院</li> <li>厚木保健福祉事務所</li> <li>北里大学東病院</li> </ul>	医療機関、厚木市、保健師、ゆいはあと、厚木市立病院、訪問看護STもみじ、訪問看護STふたばらいふ、こども医療センター、北里大学東病院	方法検討		順次実施	

コーディネート

9	コーディネート	役割に応じたコーディネート機能の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの成長とともに関わる機関が変化していくことから、成長段階に合わせた標準的なコーディネーター機関を関係機関が共通認識することで、コーディネーターの明確化を図る。</li> <li>関係機関の役割を整理し、年齢に応じた相談窓口の分担を明確にする。相談支援事業所の早期からの関わりと各機関との連絡調整機能の可能性を検討する</li> <li>連絡会議や個別ケース会議をコーディネートする中心機関について連絡会議で検討する</li> <li>ライフステージの中で、どの機関がどのようにコーディネーターを担い、状況に応じてどのようにパトタッチしていくのか、役割分担を検討し、イメージ図を作成する。事例分析を通じて、課題や対応方法を考えつつ、イメージを共有して作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木市健康づくり課</li> <li>厚木市福祉総務課</li> <li>座間養護学校</li> <li>総合療育相談センター</li> <li>厚木保健福祉事務所</li> </ul>	ゆいはあと、座間養護学校、厚木保健福祉事務所、厚木市、参加委員所属全機関、医療機関の地域連携室、相談支援事業所、療育・教育・福祉機関、たんぼぼ 【旧No.10、11を統合】	方法検討		順次実施	
10	コーディネート	コーディネーター役の育成方法検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネのような業務を障害者総合支援法に基づき、相談支援専門員が関わることができないか検討</li> <li>医療に精通した訪問看護STと相談支援機関が中心になることが現実的だが、実務的なサポートは各ケースでフレキシブルに行わざるを得ない。事例検討や事例集などを持ち寄る研修会などを企画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども医療センター</li> <li>リハビリテーション事業団</li> </ul>	相談支援センター、行政、ゆいはあと、訪問看護ステーション、病院MSW	内容検討		順次実施	

## 平成29年度厚木地域の関係機関が行う小児在宅に係る取組内容

番号	課題区分	項目	内容	主たる機関（案）	協力を得たい関係機関（例）	スケジュールイメージ			
						第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)

### 人材育成

11	人材育成	小児科及び内科医向け研修会	小児科医だけでなく内科医を含めた研修会の開催	厚木医師会	県立こども医療センター、厚木市立病院、訪問看護STもみじ、訪問看護STふたばらいふ	研修企画			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
12	人材育成	小児訪問看護受入ステーション増に向けた勉強会	小児訪問看護受入ステーションの連携体制をつくるため、勉強会（症例検討）や交流会を開催	訪問看護STもみじ	厚木市、ゆいはあと	勉強会内容検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
13	人材育成	小児訪問看護をテーマとした研修会	厚木市医療福祉連絡会訪問看護部会で、28年度に小児訪問看護をテーマに研修を企画・実施。アンケート結果を活用し、病院小児看護師や病院SWも対象として今後の取組を検討	訪問看護STふたばらいふ	ゆいはあと、訪問看護STもみじ	研修企画			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
14	人材育成	学校内研修の実施	一般教員向けに小児等在宅医療の関係機関やネットワーク、サポート体制に関する研修の実施	座間養護学校	ゆいはあと	研修企画			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
15	人材育成	支援者向け研修会・連携カンファレンスの実施	小児患者に対応可能となるように、訪問看護ステーションや養護学校等の支援者向けの研修会・連携カンファレンスを開催する	こども医療センター	訪問看護ST	内容検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告

### 資源把握

16	資源把握	厚木地域の福祉資源調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市内の放課後等デイサービスや生活介護事業所の経営や実態を調査する</li> <li>・需給を把握したうえで、既存サービスの改善点を検討する</li> <li>・地域の資源調査を行い、できることを検討する</li> </ul>	訪問看護STもみじ 厚木児童相談所	厚木市、ゆいはあと ※No.4とも関連	調査内容検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告

### 情報集約

17	情報集約	「安心ノート」を参考に「マイサポートブック」の編集と利用方法を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との引継ぎのための資料作成の負担が大きいため、ライフステージ全般で利用できる対象児専用の「マイサポートブック」の編集と利用範囲の拡大</li> <li>・学校・医療機関・施設・事業所で統一様式を作り多くの関係者間で共有する</li> </ul>	座間養護学校	厚木市、ゆいはあと、座間養護学校	内容検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
18	情報集約	相談支援機関向けに情報一覧表を作成	広域的に把握することが必要な短期入所サービス事業所の状況再確認及びレスパイト入院実施医療機関の状況確認を行い、相談支援機関向けに情報一覧表を作成し、情報提供する	総合療育相談センター	厚木市立病院、北里大学東病院、（医療型障害児入所施設）	方法検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
19	資源把握	厚木地域のメディカルショートステイの情報提供	利用施設の現状、受入内容、ベッド数などの情報を把握し、利用者への開示を行う。メディカルショートステイを受け入れる施設の拡大、要件の拡大（兄弟の用事でも可能）を図る	訪問看護STふたばらいふ	厚木市立病院、厚木市	調査内容検討			
						↓	進捗報告		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告

### 普及啓発

20	普及啓発	育児支援サービスの利用推進	障害者サービスだけでなく、育児支援サービスの利用の推進を図るため、関係機関へ障害児支援の必要性について普及啓発を行う	厚木市健康づくり課	育児支援サービスを提供する事業所	方法検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
21	普及啓発	『在宅医療でケアが必要なおさんの保健・福祉ガイドブック』の関係者間共有	『在宅医療でケアが必要なおさんの保健・福祉ガイドブック』をより充実させ、対象者及び関係機関へ配布、市ホームページへ掲載する等により広く周知する	厚木市障害福祉課	行政、医療、福祉関係機関	方法検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告
22	普及啓発	利用者本人や医療機関に向けた情報提供	自施設から利用者本人や医療機関などに向けた情報発信する。HPなどによる広報活動を行う。	北里大学東病院	厚木市、厚木市立病院、訪問看護STもみじ、訪問看護STふたばらいふ	研修企画			
						↓	進捗報告		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告

### その他

23	その他	国や県への働きかけ	厚木市障害者協議会の発達支援部会を中心にニーズを吸上げ、国や県へ発信する	ゆいはあと（既存の発達支援部会で中心的役割）	ゆいはあと、厚木市障害者協議会、父母の会	内容検討			
						↓	順次実施		
						↓	進捗報告	↓	進捗報告